

オーストラリア早分かり 3

国民と文化

人種のるつぼ

1945 年以降、600 万人以上の人々が世界中からオーストラリアに移民してきました。現在では国民の 20 パーセント以上が外国生まれで、40 パーセント以上が混血です。国内では公用語である英語以外に 226 もの言語が使用されていて、中でもイタリヤ語、ギリシャ語、広東語、アラビア語がよく話されています。

広大な国土で思いつきも壮大

オーストラリアの発明品としてはノートパッド（1902 年）、ライフセービング・リール（1906 年）、アスピリン（1915 年）、ペースメーカー（1926 年）、ペニシリン（1940 年）、回転式物干し（1946 年）、プラスチック製使い捨て注射器（1949 年）、ワインを封入する紙パック（1965 年）、人工耳（1978 年）、水洗タンク付きトイレ（1980 年）、預金通帳の偽造防止技術（1992 年）、長期装着が可能なコンタクトレンズ（1999 年）などがあります。

世界最古の文化

世界最古の文明を担っていると考えられているアボリジニの人々は、5 万年以上前からこの大陸で生活してきました。アボリジニの社会はヨーロッパ人たちがやってくるはるか以前から、様々な形で進化してきました。彼らは空気力学の原理を応用したブーメランや、ウーメラという投槍器を発明しました。また人類で初めて石で作った刃物の片側を研ぎ出したり、穀物をすりつぶすのに石器を使ったりしており、日常的に使う道具では他の文明よりはるかに進んでいました。